

SOME_COMMANDS (Actions メニュー版)

【機能】

- 選択した面すべてを同じUV方向に延長します。延長方向はU方向、-U方向、Uと-Uの両方向、V方向、-V方向、Vと-Vの両方向です。
延長量の入力、パッチ数が各々の面で異なるために、1パッチ延長のような形で比率で入力します。UV座標値での入力ではありません。
- 選択した面すべてのトリム境界を戻します。oldbnd コマンドでの使用できるオプションはoldのみで、入力する数値の0・1・2に相当する動作は、メニューの切り換えで行います。
- 同じ断面csegを使用して、複数のリードカーブcsegを選択することで、すべてのリードカーブ上に面を作成します。なお複数の断面csegを使用したり、セグメントの最大角度などのパラメータを入力することはできません。

【使用目的】

一面ずつしか処理できないコマンドの中には、頻繁に使用することがあるものが幾つかあると思います。面の延長をする besplit や面のトリムを戻す oldbnd、リードカーブ cseg に断面 cseg を用いて面を作成する varduct は、その例になります。
この3つのコマンドを複数面や複数 cseg で実行できるようにしたものが、このツールです。

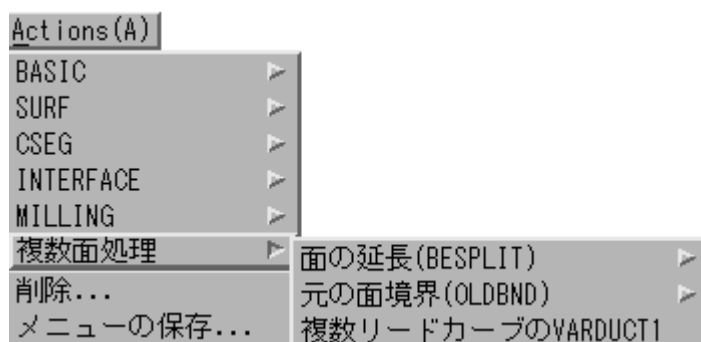
フィレット面の長さがほんのわずかに短くて、PL 面と形状面との間にエッジのような微小 R がかからない場合、必要な面をすべて Besplit で延長してからフィレット面を作成したことはないでしょうか。このツールではたとえばフィレット面の V 方向と -V 方向に、選択した面すべてに対して一度に面を延長させることで、作業効率を良くします。

面をトリム前に戻したいときにアンドゥで戻していくと、残しておきたい部分が作成前の状態になる場合があります。その場合アンドゥで戻すのではなく、必要な面を元に戻す作業を行う必要があったわけですが、多面間にわたるフィレットを作成していた場合、トリム前に戻す面が非常に数多くて、一面ずつ実行することが大変な場合があります。この作業を行う場合、複数面をまとめて実行することで作業効率を良くします。

リードカーブが複数あるものの、断面は常に同じリブ形状や溝形状の場合、このツールを使用してまとめて面を作成することで、作業効率を良くします。

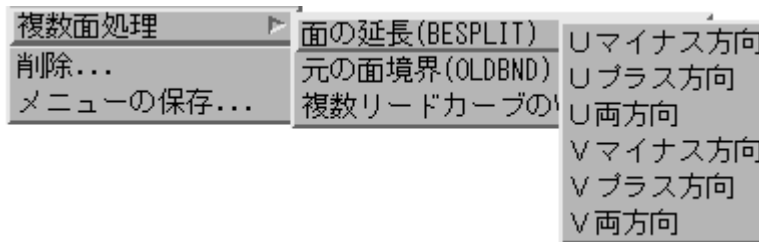
【使い方】

1. Actions メニューの中の「複数面処理」を選びます。



2. 実行したいコマンドを「面の延長(BESPLIT)」「元の面境界(OLDBND)」
「複数のリードカーブの VARDUCT1」から選択します。BESPLIT と OLDBND を
選択すると、さらにオプション画面が表示されますので、目的のものを選択します。

[面の延長(BESPLIT) の場合]



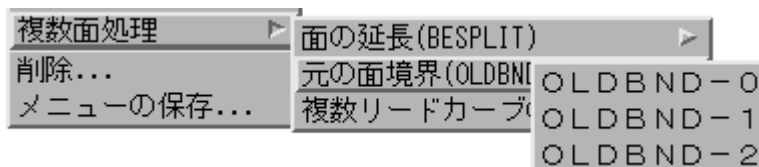
U マイナス方向や V 両方向など、どの画面を選択しても入力動作は同じです。
面が延長されない場合は、延長方向がトリムされている場合です。

1. まず延長面を選択します。
2. 伸ばしたい長さの比率を入力します。これで処理が始まります。
プラス方向マイナス方向どちらの延長の場合でも、入力値はプラスの
数値で行ってください。

e x . 通常コマンドの BESPLIT で入力を (, - 1) とする場合

1. V マイナス方向を選択します。
2. 延長する曲面を選択します。
3. 比率の入力で 1 と入力します。

[元の面境界(OLDBND) の場合]



OLDBND はどの画面を選択しても入力動作は同じです。

1. 境界を戻す面を選択します。これで処理が始まります。

e x . 通常コマンドの OLDBND で入力を 1 とする場合

1. 「OLDBND - 1」を選択します。
2. 境界を戻す面を選択します。

特別難しい入力方法ではありませんので、とりあえず動かしてみると
動作が簡単にわかると思います。
面の数が多いと、処理中の画面がちらつくように見える場合が
あります。